

保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査結果及び課題と改善について

いわき市立玉川中学校長 角田 健司

令和4年度第3学年の全国学力・学習状況調査から

本校3年生の、学力調査の結果は、次の通りでした。(令和4年4月19日実施)
平均正答率

	国語	数学	理科
玉川中	全国・県を上回っている。	全国と同等・県を上回っている。	全国・県を上回っている。
福島県	68.0	47.0	48.0
全国	69.0	51.4	49.3

※「生徒質問紙」の中での、本校生徒の**顕著な項目（抜粋）**は次の通りです。

【生活編】

<県・全国より好ましい傾向>

- 1 「自分には、よいところがある」と答えている生徒は、県・全国と比較して多い。
- 2 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する生徒の割合が県・全国を上回っている。
- 3 人が困っているときに進んで助けている生徒の割合が高い。

<県・全国より好ましくない傾向>

- 1 将来の夢や目標を持っている生徒の割合が県・全国をやや下回っている。
- 2 自分でやると決めたことをやり遂げるようにしている生徒の割合が県・全国をやや下回っている。

【学習編】

<県・全国より好ましい傾向>

- 1 話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じている生徒が多い。
- 2 平日でも家庭で3時間以上学習している生徒の割合が高く、家庭での学習習慣が身につけてきている生徒が多い。

<県・全国より好ましくない傾向>

- 1 計画を立てて勉強する生徒の割合が県・全国をやや下回っている。
- 2 「ICT機器を使うのは勉強の役に立つ」と答えている生徒が多い反面、本校での活用状況については、複数の項目で県・全国を下回っている。

※ 上記の結果を受けて、本校では今後、次のような改善策を講じていきます。

- 1 生徒一人ひとりに達成感や成就感が得られるよう体験的な活動を充実させるとともに、キャリア教育を推進して将来の目標に向けて主体的に学ぶ生徒の育成を目指す。
- 2 学習面では、習熟度別学習やサポートルームの活用など個に応じた支援体制の充実を図る。また、家庭での学習時間の確保ができている傾向にあるので、普段の授業をはじめ、家庭学習や各種テスト等についても、ふり返りと計画・検証のサイクルに基づいた主体的な学習が展開できるよう支援に努め、自己マネジメント力の育成を図る。
- 3 ICT機器の活用では、ネット接続やタブレット管理など、ハード面での環境を確実に整備するとともに、教職員研修を通して、効果的な利活用の在り方について研鑽を深めていく。

保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。